

# 地域課題解決に貢献する 「くまもとSDGsプラットフォーム」

## 1 くまもとSDGsプラットフォームの概要

本稿では、当研究所が熊本市からの委託事業「熊本連携中枢都市圏SDGsパートナー事業運営等業務」で運営している「くまもとSDGsプラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という。）」での取組みについてご紹介します。

本事業は、熊本連携中枢都市圏の市町村等\*の連携による、圏域内のSDGs普及啓発及び企業間、企業等と自治体、自治体同士が交流できるプラットフォームの運営により、地域課題の解決を図る持続可能な社会の実現を目指しています。

当研究所は、熊本の地域経済や地域課題に精通するコンシェルジュとして、プラットフォームを活用してSDGsに関する取組み等の情報共有や学びの促進、会員同士のシーズ・ニーズ・プロジェクトのマッチングを支援しています。

※ 熊本市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、玉東町、大津町、菊陽町、高森町、南阿蘇村、嘉島町、益城町、山都町、西原村、御船町、甲佐町

📄 くまもとSDGsプラットフォームHP (<https://kumamoto-sdgs.jp/>)

## 2 マッチング事例紹介

今回は、「『もったいない』からの事業創出」というニーズと「発信力を生かした持続可能な社会の実現」というシーズのマッチング事例をご紹介します。

### (1)「もったいない」からの事業創出～大東商事株式会社～

産業廃棄物処理を事業の柱とする大東商事株式会社は、「もったいない」の発想から1983年（昭和58年）に創業。廃棄物とリサイクルのプロフェッショナルとして、廃棄物を適正に処理し、資源を100%再利用できるように、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいます。

同社のAIを活用した高いリサイクル率の実現や、エコキャップ回収、熊本市西区での干潟再生プロジェクトなど、SDGsに関する様々な取組みを多くの人に知ってもらいたいという思いがニーズとなりました。



回収したエコキャップの説明をする様子

### (2)発信力を生かした持続可能な社会の実現～株式会社熊本放送～

株式会社熊本放送は、「放送局の発信力を生かして、熊本県内のさまざまな取組みとSDGsの重要性を人々に伝え、SDGsの普及・拡大と持続可能な社会の実現に貢献していく」としてSDGs宣言をしています。

TBS系列全体で、5月14日（日）～5月20日（土）に「地球を笑顔にするWEEK2023春」を開催。SDGsへの取組みを放送する強化週間とされ、熊本県内のSDGsに関する様々な情報を発信する機会がシーズとなりました。

今回の大東商事株式会社の取組みは、5月16日（火）に夕方の情報番組「ゲツキン」にて放送されました。

### 3 まとめ

プラットフォームには、登録企業等のニーズ、シーズ、プロジェクトを登録する機能があります。登録企業等がこれらに「マッチング申請」することにより、企業等同士で直接マッチングすることが可能です。

マッチングは、地域課題を解決するきっかけになる取組みとなり、持続可能な社会の実現を目指す足掛かりとなります。

今回ご紹介した取組事例をきっかけに、多くの自治体や企業等がプラットフォームへご参加いただき、マッチングが増えていくことで、SDGsの普及や地域課題の解決に繋がるよう、これからも当研究所がコンシェルジュとしてお手伝いいたします。

## イベント案内

本編でご紹介した事業では、少しでもSDGsに興味のある住民の皆様を対象として、「SDGsを体感する」をテーマに、カードゲーム形式のワークショップを開催します。

SDGsの理解を深め、日常生活でできる具体的なアクションをみんなで考えましょう！

日時：2023年（令和5年）8月20日（日）

14:00～16:30（受付 13:00～）

場所：熊本市会場 熊本城ホール 会議室C1、C2  
宇土市会場 宇土市役所会議室（予定）

定員：各会場40名程度

参加費：無料

主催：熊本連携中枢都市圏の市町村



昨年度開催したワークショップの様子

お申込みはこちら  
申込期限：8/17（木）



お問い合わせ先

公益財団法人 地方経済総合研究所

担当：財津・山田 ☎：096-326-8634 ✉：kumamoto-sdgs@reri.or.jp

（委託先：熊本市政策局総合政策部政策企画課）